

校内研究 I C T 機器活用指導案

教科・学年・組・授業者	理科 2年A組 清水嵩之
授業日時・場所	10月15日(木) 4校時 2A教室
単 元 名	電流の性質とその利用
単元の目標	日常生活との関連をはかりながら、電流と回路や静電気、電流の磁化作用などの実験を通して、電流の正体や性質、電流の働きについて理解させる。
単元の指導計画	①静電気 ②静電気と電流の関係 ③電流の正体
本時の目標	静電気が生じる原因について、実験を通して考える。
本時の評価	・積極的に実験に取り組むことができる。(観察) ・静電気が生じてストローが動く理由について考えることができる。(思考)
本時の授業形態	☒ 一 斉 ☐ 少人数 ☐ 習熟度別 ☐ グループ ☐ 個 別
タブレット端末の活用	
授業場所	☒ 普通教室 ☐ 学習室 ☐ 視聴覚室 ☐ その他 ()
活用場面	☒ 導 入 ☒ 展 開 ☐ まとめ ☐ その他 ()
活用機器	☒ 学習者用タブレット ☒ 指導者用タブレット ☒ 電子黒板 ☐ 実物投影機 ☐ その他 ()
活用 アプリケーションなど	☐ ワープロ ☐ 表計算 ☒ プレゼンテーション ☐ データベース ☐ 画 像 ☐ 動 画 ☐ カメラ ☐ 作 画 ☐ 編 集 ☐ デジタル教科書 ☐ NHK for school ☐ その他 () ☒ まなびポケット ☒ スクールタクト ☐ AIAIメンキー ☐ コラボノート ☐ イングリッシュセントラル ☐ その他 ()
活用形態	☒ 1人1台 ☐ 学習班に1台 ☐ その他 ()
研究主題にせまる タブレット端末活用の 手立て	・実験の結果をスクールタクトの画面に入力し、図を用いて静電気の性質について考えを深めていく。
タブレット端末の活用において期待される効果	・プリントに記入することが苦手な生徒も取り組むことができる。(図形の移動) ・図をもとに考察を行うことができる。

授業展開例

	学習内容 生徒の学習活動	I C T 活用場面 I C T 活用のポイント	○指導上の留意点 ☆評価
導 入	○前時のふりかえり。 ・電力量の計算について説明する。 ○本時の学習内容の周知を行う。	○PowerPointのスライドを利用して説明する。	○始業前にタブレットの準備をさせておく。 ○黒板にもメモ用の板書を残しておく。
展 開	○静電気について考える。 ・ノートに、静電気について日常生活のどんな場面で見られるかを記入する。 ○静電気とはどのように発生するかを知る。	○PowerPointのスライドを利用して説明する。	○黒板にもメモ用の板書を残しておく。 ☆発言(関心・意欲) ☆ノート(思考)
	○電気クラゲの実験を行う ・ビニールひもを1人1本配布し、説明しながら静電気を発生させる実験を行う。	○スクールタクトの画面をプロジェクターに表示し、説明を行う。	○作業が苦手な生徒の進捗状況を確認する。
	○静電気の実験を行い、静電気の性質について考える。 ・各自実験道具を用意し、実験を行う。	○スクールタクトの画面をプロジェクターに表示し、説明を行う。	○針による怪我がないように机間巡視を行う。 ☆スクールタクト(思考)(技能)
ま と め	○器具の片づけを行う。 ・実験器具を各自で片付け、課題の提出を行う。 ○次回の予告を行う。		